

「フローズ アツプ」

株式会社 浅川組

未来へつなぐ技術の軌跡!

「万博レガシー展」を開催 (本社で令和9年 3月末まで)

昨年開催され、大好評のうちに閉幕した「大阪・関西万博」。その舞台で、卓越した技術力を駆使して「フィリピン館」を建設した株式会社浅川組が、現在、本社1階エントランスホールにおいて万博レガシー展を開催しています。

世界を驚かせた建築の舞台裏と、そこに込められた熱い想いに迫りました。

Q.万博レガシー展を開催するに至った想い

当社が大阪・関西万博で建設した「フィリピン館」は、現地の職人が編んだかご状のラタンパネルや手織り布の回転パネルが外壁を覆う独創的なデザインで、西尾レントオール株式会社様と共同で建設いたしました。限られた工期の中で、施主の想いを形にするため、何度も打合せを重ね、最後には全員が納得のいく建物となりました。

今回の万博レガシー展を通じて、当社が現場で培った技術を次世代に伝え、未来のまちづくりを担う子ど



クライアント：フィリピン観光省 フィリピン観光振興局
建築デザイン：Carlo Calma Consultancy + cat. 写真撮影：小松正樹

〈(株)浅川組が建設した大阪・関西万博 フィリピン館〉

もたちに、建設業という仕事と夢と可能性を感じてもらいたいという想いで開催しています。

Q.今回のレガシー展の内容について

フィリピン館は「WOVEN (ウブーン (織りなす))」をテーマに建設しました。実際にフィリピン館にて使用されていた大小のラタンパネル2枚と回転パネル、手織りタペストリー、館名サインなどを展示しています。

また、館内を歩いているような感覚を味わえる約5分間の映像の視聴や、iPadを使用したウォークスルーを体験することができます。さらに、パネル類は実際に触れて感触を楽しむことができるなど、パビリオンの雰囲気を追体験できます。是非お気軽にお越しください。

※ラタン：東南アジアを中心に熱帯雨林や亜熱帯地域に自生するヤシ科のつる性植物



〈(株)浅川組本社1階
万博レガシー展示場にて〉
フィリピン館の現場監督を務めた
泉 雄輔 氏と、営業担当の玉井 勇作 氏

入場時間：平日 午前8時半から午後5時まで
開催期間：令和9年3月末まで

事業所名：株式会社 浅川組

代 表 者：代表取締役会長 池内 茂雄
代表取締役社長 西口 伸

所 在 地：〒640-8551

和歌山市小松原通三丁目69番地

T E L：073-423-7161

U R L：<https://www.asakawagumi.co.jp/>

商工会議所からのメッセージ

(株)浅川組様が、大阪・関西万博において、フィリピン館を建設されたことは、その卓越した技術力を示すだけでなく、和歌山の企業が世界の舞台で活躍された証として、私たちの大きな誇りです。建設にあたっては、様々な困難があったとお伺いしましたが、それを乗り越え、挑戦し続けた情熱を、この万博レガシー展を通じて、ぜひ多くの方に感じとっていただければ幸いです。